

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mailで jimu@geppou.asj.or.jp 宛、なお、原稿も必ず0422-31-5487迄Faxでお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1) 所属部門・所属講座、(2) 勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1) 着任時期、(2) 任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1) 提出先、(2) 問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

立教大学理学部物理学科教員公募

1. 講師、助教授または教授1名
2. 立教大学理学部物理学科
3. 広い意味での宇宙物理学の実験的研究。特に飛翔体を用いた観測的研究および新しい観測技術の開発。
4. 学部・大学院での教育も担当する。
5. 2001年4月1日
6. 着任時に45歳以下の博士号取得者で情報関連科目も担当可能な方が望ましい。
7. (1) 履歴書、(2) 業績リスト、(3) 主要論文別刷5編以内、(4) 現在までの研究概要（1500字以内）、(5) 研究計画書（1500字以内）、(6) 推薦書または照会可能者の氏名と連絡先
8. 2000年10月14日(土)必着
9. (1) 〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
立教大学理学部物理学科長
矢彦沢茂明
(2) 同学科 柴崎徳明
Tel: 03-3985-2389 shibazak@rikkyo.ac.jp
10. 封筒に「宇宙物理実験教員応募書類在中」と朱書し、簡易書留で送付のこと。

平成13年度

郵政省通信総合研究所非常勤研究職員の公募

通信総合研究所では、下記「研究分野」において従事する非常勤研究職員を募集いたします。

1. 非常勤研究職員
3. 研究テーマ：
 - ①情報通信分野
 - ②無線通信分野
 - ③電磁波計測・環境情報分野
 - ④光通信・量子エレクトロニクス分野
 - ⑤生物・人間情報分野
5. (1) 平成13年4月1日、(2) 1年（但し、原則3年以内再任可）
6. 採用時に博士の学位を有すること（国籍不問）
日本語又は英語での会話、読み書きに堪能であることが必要
7. ①履歴書（写真貼付）、②論文リスト、③研究提案書、④推薦書（1通以上）
8. 平成12年10月6日(金)必着
9. (1)、(2) 〒184-8795 小金井市貫井北町4-2-1
郵政省通信総合研究所国際研究交流室
各務（かがみ）
TEL: 042-327-5473
FAX: 042-327-6659
E-mail: kagami@crl.go.jp
11. ポストドクタークラスまたは主任研究官クラスに相当する日給制
選考方法：非常勤研究職員選考委員会にて書類審査または面接による選考
○細は <http://www.crl.go.jp/> を参照

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

美星天文台

1. 93巻6号
2. 五百蔵雅之（大阪教育大）
3. 2000年9月1日

研究助成

第3回大学婦人協会守田科学研究奨励賞受賞者候補募集要項

趣旨：本賞は、化学教育者・故守田純子氏から遺贈された資金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展の貢献する人材を育成することを目的として、1998年に設けられたものです。

対象：自然科学分野において、優れた研究成果をあげており、将来、科学の発展に貢献することが期待される40才未満（応募締切日現在）の女性科学者を対象としています。

受賞件数：年2件以内 賞状および副賞30万円を贈呈します。

提出書類：1.推薦状、2.履歴書（写真添付）、3.研究業績リスト、4.主要な論文別刷、5.研究題目とその概要および今後の展望と抱負を記したもの（A4版2頁以内）

応募締切日：2000年11月30日（木）（必着）

書類送付先及び連絡先：

社団法人 大学婦人協会

〒160-0017 東京都新宿区左門町11番6の101

TEL: 03-3358-2882 FAX: 03-3358-2889

研究会・集会案内

「高精度アストロメトリ観測で拓く宇宙物理学」研究会

主催：国立天文台

日時：2000年12月4日（月）～12月5日（火）

場所：国立天文台（三鷹）すばる解析研究棟1階大セミナー室

内容：銀河系内のできるだけ遠くかつ広範囲な星の距離・位置・運動を正確に決定することが天文学の基礎である。この位置天文（アストロメトリ）観測によって得られる情報は様々な宇宙物理学の展開を可能とする最も基本的なものである。国内外での観測計画によると、近い将来には年周視差や1年当たりの固有運動を10万分の1秒角という超高精度で観

測することが可能になりつつある。そこで、今後の高精度アストロメトリ観測によって、なにがどこまで解き明かされ、それが宇宙物理の様々な分野でどのような影響を及ぼすか、サイエンスの戦略を練る必要がある。本研究会では、恒星物理、超新星、連星系、星や惑星系形成、銀河動力学、重力レンズと相対論、銀河の形成・進化、観測的宇宙論など様々な分野において、アストロメトリ観測によって切り開かれていくサイエンスを中心に議論する。また、国内外の将来計画や、距離決定方法の諸問題に関するレビューも行う予定である。

招待講演者（敬称略。*は世話人も兼ねる）：

浅田秀樹、池内 了、井田 茂、*郷田直輝、
児玉忠恭、*斉尾英行、*笹尾哲夫、*千葉柁司、
*辻本拓司、蜂巢 泉、本間希樹、*宮本昌典、
*吉井 謙

講演申し込み：招待講演以外に一般講演も募集します。講演を希望する方は、以下の必要事項を記入の上、下記連絡先までお送り下さい。締め切りは、2000年10月27日（金）（必着）とします。

必要事項：氏名・所属・身分・連絡先（電子メールアドレスも記入のこと）・講演タイトル・簡単な講演アブストラクト・旅費補助希望の有無（ただし、希望通りに補助できるかどうかは、定かではありません。世話人にご一任下さい）。

研究会連絡先：

〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1

国立天文台 位置天文・天体力学研究系

郷田直輝または辻本拓司

TEL: 0422-34-3616, 0422-34-3617

FAX: 0422-34-3779

E-mail: naoteru.gouda@nao.ac.jp

taku.tsujimoto@nao.ac.jp

その他

平成12年度三菱財団自然科学研究助成金の決定通知がきましたのでお知らせします。

- 研究題目：ダイクロミックミラー型分光器による高効率天体観測の研究
- 代表研究者：東京大学大学院理学系研究科助手 土居 守
- 助成金額：800万円

会務案内

2000年度日本天文学会林忠四郎賞受賞候補者 および欧文報告論文賞受賞候補論文推薦の お願い

2000年8月20日
社団法人 日本天文学会

標記の2つの賞について、受賞候補者(論文)の推薦をお願いします。両賞の由来と内規については、本誌1996年11月号(会務案内, p. 524)、およびそこに引用した記事を見てください。

これらの賞を権威あるものに育てていくのに最も大切なことは、どれだけ立派な研究に対して賞が授けられていくかということです。関連分野の学識経験者、および天文学会会員諸氏からのご推薦をお願いします。

締切は両賞共2000年11月17日(金)。下に述べるそれぞれの要領にしたがって記入した推薦書を、

〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1

国立天文台内 日本天文学会宛

に郵送してください。なお、封筒には「林忠四郎賞候補推薦書」または「欧文報告論文賞候補推薦書」と表記してください。とくに返送等のお申し出がない限り、推薦書類は選考後に破棄します。授賞式は、両賞共、本学会の通常総会(2001年3月27日、千葉大学)にて行います。

日本天文学会林忠四郎賞(第5回)推薦要領

この賞は、林忠四郎博士が1995年11月に第11回京都賞を授与されたのを記念し、「後進の天文学研究を奨励するため」として同博士が日本天文学会に寄付された金額を基金にして設定されたものです。

分野等：広い意味での天文学(天体物理学、宇宙物理学、他の関連テーマも含む)における独創的かつ分野に寄与するところの大きい研究業績に対して授与する。

授賞件数：原則として各年に1件。

賞状等：本賞として賞状、副賞として賞牌(メダル)および賞金(30万円)。

推薦書の形式：表題は「2000年度林忠四郎賞候補者推薦書」としてください。前年度と同じ推薦をなさる場合も、あらためて推薦書を提出してください。

A4サイズ用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補者(被推薦者、連名授賞可)について：氏名(ふりがな)、生年月日、大学卒業年、現職及び連絡先(電話、faxも)
- 2) 授賞対象とする研究の表題
- 3) 推薦者について：氏名(ふりがな)、現職、連絡先(電話、faxも)、被推薦者との関係
- 4) 推薦理由の要旨(300字以内)
- 5) 推薦理由
- 6) 関連する論文のリスト
- 7) 添付資料として、推薦に関連して最も重要な論文のコピー(複数可)

日本天文学会欧文報告論文賞(第5回) 推薦要領

この賞は、良い論文がPublications of the Astronomical Society of Japan(PASJ)に投稿・出版されるのを奨励するために設定したものです。なお、本賞の選考委員会は、林忠四郎賞選考委員会が兼ねることになっています。

対象論文等：原則として過去3年以内にPublications of the Astronomical Society of Japanに出版された論文のうち、独創的で天文学分野に寄与の大きい、特に優れた論文の著者(共著の場合はすべての各共著者)に授与する。

授賞件数等：原則として1年に2件以内。

賞状を授与する。

推薦書の形式：表題は「2000年度欧文報告論文賞候補推薦書」としてください。A4サイズ用紙に、次の順序で横書きにしてください。

- 1) 候補論文について：論文題目、著者名、所属、出版された巻、ページ、発行年
- 2) 論文著者について：氏名(ふりがな)、連絡先(電話、faxも)
- 3～7) 林忠四郎賞推薦の場合と同じ